



特 集

任期4年間で賛否が分かれた議案

○：賛成 ●：反対 ※議長は採決に加わらない。

議案	議員名	西村	渡部	曾我部	影岡	田中	住田	稲田	加藤	藤岡	村井	岡井	伊賀上
令和2年6月 松前町職員倫理条例		●	○	●	○	○	○	○	—	○	○	○	●
反対		・不当要求行為への組織的対応等がない。この条例は、職員が守るべき条例であるとともに、職員を守るべき条例でなくてはならない。											
賛成		・職員の法令遵守や倫理の保持に関して、必要な措置を講じ、町民の信頼を確保するためには、早期の制定が望まれる。											
令和3年3月 松山市及び松前町における連携 中枢都市圏形成に係る連携協約の 一部を変更する連携協約の締結		○	○	○	○	○	○	○	—	○	●	○	○
反対		・連携に入らなくても本町が困ることはない。連携するメリットはないのでは。											
賛成		・単独で事業等を実施するより、大幅な負担減、職員の労力減のメリットがある。											
令和3年3月 令和3年度 一般会計当初予算		●	○	●	○	○	●	○	—	○	○	○	●
反対（義農大賞・合併処理浄化槽設置新築分廃止）		・義農大賞は中止し、町民に作兵衛翁の名前・義農精神を広めることが先である。 ・合併処理浄化槽設置補助金新築分を廃止するのではなく、継続すべきである。											
賛成		・義農精神を全国に普及するよい機会である。本町の知名度アップによい事業だ。 ・新築の合併処理浄化槽設置は義務化されており、対象から外すことは問題ない。											
令和3年12月 令和3年度 一般会計補正予算		●	○	●	○	○	●	○	—	○	○	○	●
反対（義農大賞）		・義農大賞に反対の町民もあり、そのことも考え、予定どおり大賞受賞者は1件にし、今回の反省にもとづいて第2回の受賞者数の検討をすべきである。											
賛成		・町とは独立した審査委員会で審査した結果、2件と決まったもので、この結果に行政が介入すると公平性を欠く。											
令和4年3月 令和4年度 一般会計当初予算		○	○	●	○	○	○	○	—	○	●	○	○
反対（放置艇処理事業補助金）		・放置艇を町と漁協で処理するのではなく、所有者にも個人負担を求めるべき。											
賛成		・この事業だけを取り上げるのではなく、町民の暮らしに直結する年間予算が計上されている。住民生活に支障が生じないように、承認すべきである。											
令和4年9月 白鶴保育所改築機械 設備工事請負契約の締結		●	○	●	●	○	●	○	—	○	○	○	●
反対		・低入札価格調査制度を適用すれば、落札額を抑えることができる可能性がある。もう一度この制度を適用して入札すべきである。											
賛成		・建設金額もさることながら、いつ入園できるかが切実な問題だ。新園舎の完成により待機児童の解消が図られることを心から願っている。											
令和5年3月 令和5年度 一般会計当初予算		●	○	●	○	○	●	○	—	○	○	○	●
反対（義農大賞）		・今回も「能」を計画しているが、実行委員会は事業の詳細を検討した上で、推進しているのか疑問である。子育て支援など早急に実現すべき事項は他にもある。											
賛成		・実行委員会を設立する前に、行政が前回の事業内容を十分に精査し、適正な予算見積りでの分担金を当初予算に計上していることで支障はない。											

議員の一言一句は、とりもなおさず住民の意見であり、住民からの声であるというべきであり、議員が行う質問や質疑・討論は、同時に住民の疑問であり意見であり、表決において投ずる一票は、住民の立場に立っての真剣な一票でなければならない。（「議員必携」より）